

令和7年度（2025年度）特別支援教育コーディネーター基本研修

【講義】

特別支援教育コーディネーター 業務の実際

北海道鷹栖養護学校
教諭 池田文宏

この講義は、令和6年度（2024年度）特別支援教育コーディネーター基本研修で収録したものです。

内 容

- 1 自己紹介、所属校紹介
- 2 本校の特別支援教育コーディネーター業務について
- 3 心掛けていること
- 4 まとめ

1 自己紹介、所属校紹介

- ◆ 自己紹介
- ◆ 北海道鷹栖養護学校の紹介

自己紹介

北海道真駒内養護学校

初任校、学級担任、地域支援部に2年間所属

秋田県立ゆり養護学校（現ゆり支援学校）

北東北三県との人事交流、学級担任

北海道東川養護学校

学級担任、特別支援教育コーディネーター

北海道鷹栖養護学校

特別支援教育コーディネーター

北海道鷹栖養護学校



- ◆ 在籍児童生徒数 102名 (小学部 34名 中学部 28名 高等部 40名)
- ◆ 知的障がいのある児童生徒が在籍
- ◆ 鷹栖町・旭川市内をスクールバスが運行
- ◆ 校区は上川・留萌管内 5市12町3村
- ◆ 通学が困難な児童生徒は寄宿舎を利用

こんなことで困っていませんか？

- 目の見え方や聞こえが気になる。
- ことばの発達が気になる。
- 発育や発達の様子が気になる。
- 運動や身体の動きが気になる。
- 学習のつまずきや遅れが気になる。
- 友だちとのトラブルが多い。



上川管内特別支援教育ネットワーク

たいせつネットが
お手伝いします！

「保育園、幼稚園、学校等各機関のご相談
にお応えします！」

- 指導内容・方法、教材の工夫。
- 特別支援教育に関する研修会の講師依頼への対応。
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成の援助。
- 特別支援教育等の情報提供。

パートナー・ティーチャー派遣事業に
協力しています

○北海道教育委員会の事業です。

○対象機関

公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校

○内容

学校や園の要請を受けて、年に数回訪問し、
幼児・児童・生徒の適切な支援について一緒に
検討し、アドバイスいたします。

まずはご連絡ください

「相談方法」

- ①訪問相談
- ②電話・メールでの相談
- ③特別支援学校での来校相談
を行っています。

「たいせつネット」とは、旭川盲
学校・旭川聾学校・旭川養護学校・
鷹栖養護学校・東川養護学校・美
深高等養護学校あいべつ校・旭川
高等支援学校の7校が協力して皆
さんと一緒にお子さんの支援を考
えていく組織です。

このQRコードを読み取る
ことで、スマートフォン等からで
きるHWPがご覧になります。



たいせつネット事務局
北海道旭川高等支援学校
TEL (0166) 29-5575
FAX (0166) 29-5576
E-mail: taisetsunet@hokkaido-c.ed.jp
ホームページ: www.taisetsunet.hokkaido-c.ed.jp
〒070-0865 北海道旭川市5条西5丁目

令和6～7年度の
たいせつネット事務局は、
北海道旭川養護学校

2 本校の特別支援教育 コーディネーター業務について

- ◆ 所属分掌部
- ◆ 校内支援・地域支援に関わる業務

(1) 所属分掌部（支援部）

- ・主に地域・校内支援と進路支援の業務を担当している分掌部
- ・特別支援教育コーディネーター（以下 特別支援教育Co）は、
3名が専任で担当

小学部	中学部	高等部
 <p>特別支援教育Co ・本校通算12年目 ・盲学校でのCo経験 ・再任用</p>	 <p>特別支援教育Co ・本校5年目</p>	 <p>特別支援教育Co ・本校8年目 ・進路業務の経験 ・再任用</p>
	 <p>進路指導主事</p>	 <p>進路指導主事</p>
 <p>学級担任</p>		 <p>副担任（進路担当）</p>
		 <p>学級担任</p>
		 <p>学級担任</p>

(2) 校内支援に関する業務

本校の転入学に関する業務

- ・ 教育相談
- ・ 学校見学
- ・ 新転入生引き継ぎ

関係機関との連携

- ・ 個別の教育支援計画の運用
- ・ 支援会議
- ・ 相談支援事業への協力（福祉事業所との連絡窓口）

校内職員への支援

- ・ 校内研修（教育相談習熟のための交流会、スクールカウンセラーの対応、ヤングケアラー関連研修）
- ・ 分掌内研修
- ・ 校内職員サポート

(3) 地域支援に関わる業務

関係機関との連携

- ・ 上川管内特別支援教育ネットワーク関連業務

幼保・小・中・高等学校等への支援

- ・ 特別支援教育パートナー・ティーチャー派遣事業
- ・ たいせつネット訪問相談
- ・ 上川管内専門家チーム

兼職（就学相談、非常勤講師）

- ・ 鷹栖町特別支援教育連携協議会
- ・ 留萌地方教育支援委員会
- ・ 北海道教育大学旭川校非常勤講師
- ・ 旭川市教育支援委員会

3 心掛けていること

- ◆ 教育相談について
- ◆ 校内の先生方への働きかけ
- ◆ 地域の先生方への働きかけ

(1) 教育相談について

本校での教育相談の件数（令和5年度）

学部	人数	傾向
小学部	19名	未就学児の他、途中転入希望の小学校在籍児童の相談が多い。
中学部	12名	小学校高学年の児童が多い。
高等部	29名	高等部入学に向けて教育相談を申し込むケースが多い。

教育相談の流れ

① 受け入れ

お出迎え、日程説明

② 学校・学部紹介 (20~30分)

学部主事による説明

③ 授業・校舎見学 (50分)

授業見学や校舎の案内

④ 相談 (10分)

質疑応答、困りごとへの相談

⑤ 寄宿舎見学 (30分)

寮務主任による説明



10:00~12:00の受け入れが多い

教育相談で心掛けたいこと

- 来校者の求めていることに合わせた説明と対応
- 本校として「できること」、「できないこと」を明確に、理由を添えて伝えること（「検討して後日返答」の場合もあります）
- 就学や進学希望は保護者だけでなく、本人にも確認
- 見学先の学部職員への感謝の気持ち（来校者への対応や雰囲気作り）

(2) 校内の先生方への働きかけ

～特別支援教育Co業務の理解・啓発のための取組～

「よく知らないけど、忙しくて大変
そうなイメージ」

「次は誰が担当できるんだろう？」



- ・校内の先生方に特別支援教育Coの業務を知ってもらいたい！
- ・次の担当者にスムーズにバトンをつなげたい！

分掌内研修

対象：支援部員

内容：特別支援教育Coや進路指導主事の業務について研修する。

方法：分掌部会にて、議題等が少ない際に15分程度で実施する。

たいせつネット訪問相談への同行研修

対象：支援部員

内容：たいせつネット訪問相談に同行し、地域支援の様子を知る。

方法：夏季・冬季休業中に実施する。

教育相談習熟のための交流会

対象：本校教職員（希望者）、小・中学校の特別支援教育Co

内容：互いの学校の特別支援教育の状況や課題等について交流する。

方法：夏季・冬季休業中に1回ずつ、オンラインで実施する。

(3) 地域の先生方への働きかけ

～特別支援教育パートナー・ティーチャー派遣事業について～

「似たような主訴が多いような気が...」
「対象児の情報を丁寧に聞き取っていると
時間が足りない...」



- ・訪問先が対象児への取り組みを蓄積、応用できるような何かがほしい！
- ・できるだけ効果的・効率的な相談につなげるための事前情報がほしい！

昨年度の派遣先 31校

幌加内町

幌加内小学校 朱鞠内小学校 幌加内中学校

比布町

比布中央学校 (前期課程)

鷹栖町

鷹栖中学校

旭川市

近文小学校 雨紛小学校 青雲小学校
近文第一小学校 近文第二小学校 富沢小学校

富良野市

富良野小学校 東小学校 扇山小学校
富良野西中学校 富良野東中学校

名寄市

名寄南小学校 名寄西小学校 名寄東中学校

士別市

士別小学校 士別南小学校 糸魚小学校
上士別小学校 温根別小学校
上士別中学校 士別南中学校

当麻町

宇園別小学校

上富良野町

上富良野小学校 上富良野西小学校
上富良野中学校

中富良野町

中富良野小学校



特別支援教育パートナー・ティーチャー派遣事業 相談・記録シート

- ・「パートナー・ティーチャー派遣事業 支援シート」（北海道教育委員会）とは、様式と使用方法が少し違いがあります...

訪問前

本校⇒訪問先…「様式」「記入例」などを送信
訪問先⇒本校…相談・記録シートを記入し返信

当日

相談・記録シートをもとに訪問先と懇談

訪問後

訪問先⇒本校…相談・記録シート「相談の記録/次回に向けて」「管理職の見解」欄を記入し送信

訪問先にとって～シートの記入や提出などの負担について、地域の先生方からは「そんなに負担ではないですよ。」と仰っていただいています...

本校にとって～訪問前に情報収集や特別支援教育Co同士で相談などの準備ができる。助言がどのように受け止められたか確認ができる。

1回目

学校名	〇〇市立〇〇小学校	担任氏名	〇〇 〇〇		
		コディネーター氏名	〇〇 〇〇		
協議参加者氏名	〇〇教頭、〇〇教諭 (Co)、〇〇教諭 (担任)、〇〇教諭 (属格随護学校 Co)				
児童生徒氏名	廣橋 太郎 (タカス タロウ)	学年	2	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 ・ <input type="checkbox"/> 女
在籍学級種別	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 通級による指導 (自閉症) ・ <input type="checkbox"/> 特別支援学級 ()				
個別の教育支援計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	個別の指導計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
診断名/病名	自閉症スペクトラム、ADHD	知能検査	WISC-IV知能検査 FSIQ88 (H30年11月実施)		

① 対象幼児児童生徒の基礎情報

※「昨年度の実践内容」の欄は、昨年度にP・T実施の幼児児童生徒の場合のみ御記入ください

昨年度の実践内容	主訴 (課題)
	<ul style="list-style-type: none"> ・衝動的な言動が多く、授業中に離席がある。 昨年度取り組んだ手立てと、その経過 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを黒板の隅に掲示するようにした。また、ペアやグループでの活動、ノートを見せ合っでの意見交換など、離席して活動しても良い時間帯をできるだけ取り入れるようにした。 ・一日のがんばり目標を机上に掲示し、達成したらシールを与えるようにした。 ・取り組みの結果、授業中に勝手に発言してしまうことはまだ見られるものの、離席はほとんどなくなった。

② 昨年度対象だった場合のみ記入

今回の相談について	主訴 (課題)
	<ul style="list-style-type: none"> ① 身の回りの整理整頓ができない。 ② 言われたことを自分で勝手に解釈したり、思い込みが多い。 校内委員会での検討結果・意見 <ul style="list-style-type: none"> ・主訴に関わる最近の本児の様子を参加者で共有し、当面の対応を検討した。
	<ul style="list-style-type: none"> ① 片付けの方法を視覚的にわかりやすく提示する。 ② 可能な範囲で個別に声をかけ、経過を観察する。 現在取り組んでいる具体的な手立て <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に取り組んだ手立ては継続している。
	<ul style="list-style-type: none"> ① ロッカーや机の中の片付け方を写真で掲示するようにしている。 ② 指示と異なることをしている際には、声をかけるようにしている。

③ 今回の相談の主訴

※以下の欄は、今回の相談終了後に御記入・御提出ください

相談の経過/次回への対応	～相談終了後に記入～
	<ul style="list-style-type: none"> ①整理整頓については、〇〇市立〇〇小学校での取り組みが紹介され、ロッカーや机の片付け方を全校で統一して写真やイラストで提示すること、週に1度ロッカーの片付けタイムを設定すること、「今週の片付け名人」など学級全体で整理整頓について意欲喚起をすることなどを次回までに試すことになった。 ②言われたことを勝手に解釈してしまうことについては、相談参加者同士の話し合いで、「本児が指示を聞き逃していることが原因かもしれない」と話題になった。そのため、全体指示の際には、事前に注目させてから簡潔に指示を出すこと、時には指示後に児童らに復唱させることなどを試みることになった。
協定の事項	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の協議内容を校内委員会に還元し、協議に参加できなかった他の職員にも周知したい。本校には本児と同様の課題がある児童が他に数人在籍しているため、今回の協議にあった手立てを他学年でも実践するよう勧めたい。 〇〇市立〇〇小学校長 〇〇 〇〇

④ 終了後に記入

4 まとめ

最後に…

- ◆ “他障がい種に関する知識”の専門性を求められることもあるけれど…
→ **新しい視点を勉強して、専門性の幅を広げるチャンス！**
- ◆ 初めて訪問する学校、初めて話す相手など緊張することも多いけれど…
→ **小規模校や就学前機関など、地域の特別支援教育の状況を知ることができるチャンス！**
- ◆ 周りからは「見えにくい」「分かりにくい」業務かもしれないけれど…
→ **特別支援教育Co業務の魅力を伝える機会を増やしたい！**